AudioComm®

取扱説明書

AM/FM DSPポケットラジオ

型番：RAD-F185N-S　品番：07-7961
RAD-F185N-K　07-7962

このたびは、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。”**なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　**お客様相談室** へ
●フリーダイヤル（無料）　●携帯電話・公衆電話からは
0120-963-006　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　**修理ご相談センター**へ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7961/7962B

目次

安全上のご注意…………………………………………… 2
各部の名称 ………………………………………… 4
ディスプレイの見方 ……………………………… 6
乾電池の入れ方…………………………………………… 7
時刻の設定方法 ………………………………………… 8
ストラップの取り付け方 ………………………… 9
ラジオを聴く(基本操作) ……………………… 10
よりクリアな放送を楽しむために……………… 12
低音強調機能 ………………………………………… 13
ホールド機能について ……………………………… 13
FMステレオ放送の受信状態がよくないときは …… 14
メモリー登録をする(手動) ……………………… 15
ATS(オートチューニングスキャン) ………… 17
メモリー登録の削除方法 ………………………… 18
海外でご使用の場合 ……………………………… 19
故障かなと思ったら ……………………………… 20
お手入れのしかた ………………………………… 20
保証書とアフターサービスについて …………… 21
静電気に関するご注意 …………………………… 21
主な仕様…………………………………………………… 22

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながることがあります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

警告

以下を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

●**乾電池は充電しないでください。**
電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

●**本体に使用している乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにしてください。**
また、乾電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。
万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

●**車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しないでください。**
交通事故の原因になります。また歩きながら使用する時も、周囲の交通に十分にご注意ください。交通事故などの原因となります。

●**屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐに使用を中止してください。**
落雷の原因となります。

注意

以下を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

●**本機は防滴・防塵仕様ではありません。湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気のあたる場所には置かないでください。**
故障の原因となることがあります。

●**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、暖房器具のそばなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。**
故障および火災の原因となることがあります。

●**乾電池を入れる際は、極性表示(プラス+とマイナス−の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。**
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、周囲汚損の原因となることがあります。

●**指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使ったり、種類の異なる電池(例:アルカリとマンガン)をいっしょに使用しないでください。**
電池の破裂、液もれにより、火災やけが、周囲汚損の原因となることがあります。

次ページに続く

●**長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず乾電池を取り外してください。**
火災・液もれの原因となることがあります。

●**本機やイヤホンコードの上に重いものをのせたりしないでください。**
故障や破損の原因になることがあります。

●**はじめから音量を上げすぎないでください。**
突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。

●**長時間、大音量で聞き続けたり、急に音量を上げたりしないでください。**
周囲の迷惑になったり、聴覚障害の原因になることがあります。

乾電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂などにより、火傷や大けが、失明の原因になります。

⚠ 警告

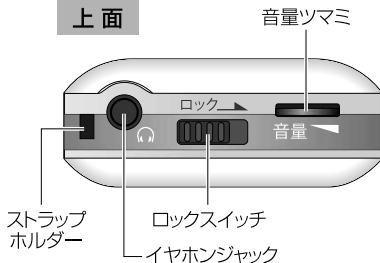
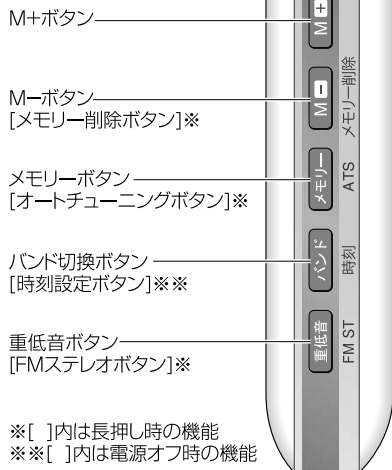
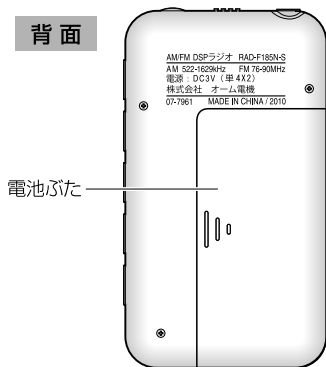
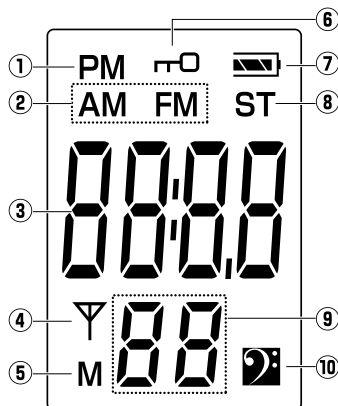
●乾電池が液もれした時は、液が本体内部に残ることがあるため、弊社修理ご相談センターにご相談ください。液が目に入った時は、失明の原因となる恐れがありますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●取扱説明書（本書）の説明に従い、⊕と⊖を正しく入れてください。
●充電しないでください。
●火の中に入れないでください。
●ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
●火の近くや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
●水などで濡らさないでください。浴室など湿気の多い場所で使わないでください。

⚠ 注意

●使い切った電池は取り外してください。また、長時間使用しない時も取り外してください。
●新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わなでください。

使用済み電池を破棄する時は…

使用済みの電池に関して、自治体の条例などで決まりがある場合には、それに従って破棄してください。

各部の名称

各部の名称（続き）

ディスプレイの見方

①**PM時刻アイコン**
午後の時刻表示時に点灯（午前のAM表示はありません）

②**バンド表示**

③**時刻／周波数表示**

④**受信状態アイコン**
このアイコンが点灯中は⑨のエリアに受信感度を表示

⑤**メモリーアイコン**
このアイコンが点灯中は⑨のエリアにメモリー番号を表示

⑥**ロックアイコン**
ホールド機能有効時に表示

⑦**電池残量表示**

⑧**FMステレオアイコン**

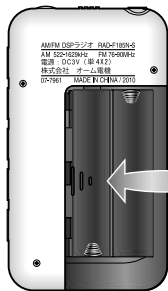
⑨**各種情報表示エリア**
AMまたFMの受信感度、メモリー番号等を表示。電源オフの場合は秒を表示

⑩**重低音アイコン**
重低音強調時に表示

乾電池の入れ方

1 背面の電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて持ち上げます。

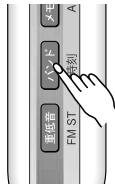
2 単4形乾電池2本(別売)を、⊕と⊖の向きに注意しながら、図の通り正しく装着します(コイルバネのあるほうが⊖です)。

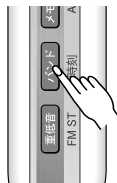
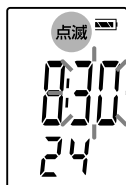
3 電池ぶたのツメを止め部と合わせ、元通りにしっかりと閉めます。

単4形乾電池
×2本(別売)

アルカリ乾電池をぜひご使用ください　マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

時刻の設定方法

電源が入っていない状態で操作してください。

1 電源が入っていない状態で、時刻設定ボタン（バンド切換ボタン）を押します。

2 「時」表示が点滅している間に、選局ボタン(+／ー)を押して「時」を選び、時刻設定ボタン(バンド切換ボタン)を押します。

3 「分」表示が点滅している間に、選局ボタン(+／ー)を押して「分」を選び、時刻設定ボタン(バンド切換ボタン)を押します。
※点滅が点灯に変わり、時刻が確定します。この時、秒表示が０にリセットされます。

「時」の設定

「分」の設定

ヒント バックライトについて

本機のいずれかを操作すると、ディスプレイのバックライトが約16秒間点灯しますので、暗いところでも確認しやすくなります。時間が経過すると自動的に消灯します。

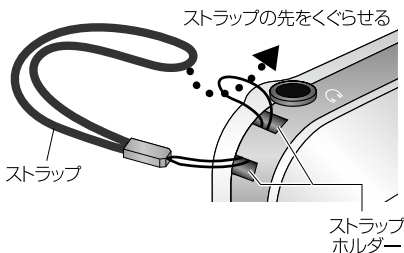
次ページに続く

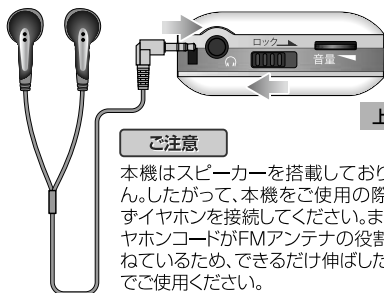
時刻の設定方法（続き）

ヒント

●乾電池をセットすると、電源オフの時は常時時刻を表示します。
●時刻表示は12時間表示・24時間表示の選択が可能です（初期設定は12時間表示）。
・時刻設定ボタン（バンド切換ボタン）を約10秒間長押しすると、「H12」「H24」のいずれかが表示されます（長押しするたびに切り換ります。）
・H12：12時間表示
H24：24時間表示となります。
・12時間表示の場合、午後の時刻はディスプレイに「PM」が表示されます（午前の「AM」表示はありません）。
●選局ボタン（＋／－）を押したままにすると、連続して時・分が送られますので、素早く設定することができます。
●時刻設定中も秒表示はそのまま進み、「分」を指定して時刻設定ボタン（バンド切換ボタン）を押した段階で0にリセットされます。
●電池交換後などに時刻が正しくない場合は前ページの手順で設定し直してください。

ストラップの取り付け方

本機には携帯に便利なストラップが付属しています。細いほうの輪の先端をストラップホルダーに通し、次に手に持つほうの先端を図の通りくぐらせて、しっかりと固定させてください。

ラジオを聴く（基本操作）

1 ロックスイッチが切になっていることを確認し（下図参照）、ステレオイヤホンのミニジャックを本機のイヤホンジャックに接続します。

ご注意

本機はスピーカーを搭載しておりません。したがって、本機をご使用の際は必ずイヤホンを接続してください。また、イヤホンコードがFMアンテナの役割も兼ねているため、できるだけ伸ばした状態でご使用ください。

2 電源ボタンを押して電源を入れます。

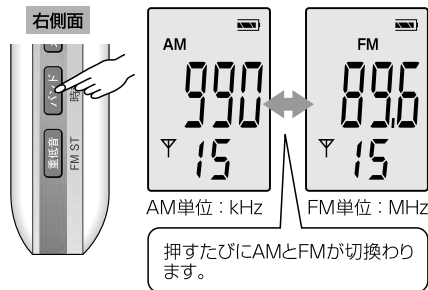
ヒント 受信感度について

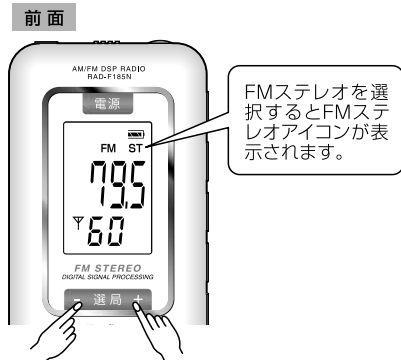
数字が大きくほど感度が強くなります（単位：dB）		
範　囲	0～70	
目　安	20以下	非常に弱い
	21～40	弱い
	41～60	良好
	61以上	非常に強い

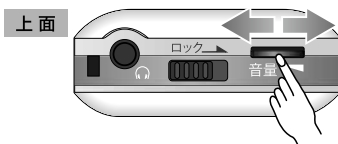
ラジオ受信中に受信感度を確認する場合は、重低音ボタンを短く2回押してください。約10秒間、受信感度表示に切り換ります。

ご注意 電源を入れる時は、音量ツマミで音量を低く設定してください。突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。

次ページに続く

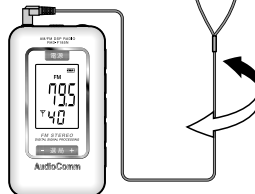
3 バンド切換ボタンでAMまたはFMを選びます。

4 選局ボタン(＋／ー)を押して、お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

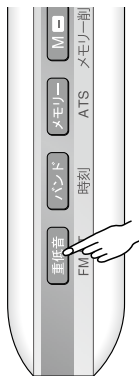
ヒント

- ●選局ボタン(＋／ー)を長押しすると、連続して周波数が送られますので、素早く選局することができます。長押しした後に指を離すと、最初に良好に受信できた放送局を選局します。
- ●AM放送の場合、9kHz単位で上下し、FM放送の場合、100kHz単位で上下します。

5 音量ツマミを使って音量を適切に調節します。

6 ラジオを切る時は、電源ボタンを押します。

よりクリアな放送を楽しむために

●AM放送の場合
AMアンテナはラジオ内に内蔵されているのでラジオの向きを変えてみてください。

●FM放送の場合
イヤホンコードを最もよく聞こえる方向に動かしてください(イヤホンコードがアンテナを兼用しています)。

低音強調機能

ラジオを聴いている時に重低音ボタンを押すと、ラジオ音声の低音部が強調されます（ディスプレイに重低音アイコンが表示されます）。もう一度押すと、重低音アイコンが消え、通常の音声に戻ります。

ホールド機能について

ロックスイッチを入にすると（図参照）、ボタン操作ができなくなります。鞄の中に入れて持ち運ぶ時など、誤操作を防止したい時にお使いください。

ヒント

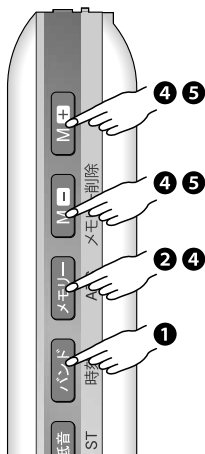
ロックスイッチが入の状態では、ディスプレイにロックアイコンが表示されます。

FM ステレオ放送の受信状態がよくないときは…

FMステレオで弱い電波を受信した場合、ノイズが多くなることがあります。
このような時はFMステレオボタン（重低音ボタン）を長押ししてモノラル音声に切換えてみてください（このときディスプレイのFMステレオアイコンが消灯）。ノイズの少ない状態で受信できます。
ステレオ放送に戻すときは、もう一度FMステレオボタン（重低音ボタン）を長押ししてください（ディスプレイのFMステレオアイコンが表示されます）。

メモリー登録をする（手動）

よく聴く放送局をメモリー登録することで、簡単に選局することができます。

右側面

1 バンド切換ボタンを押してバンド（AMまたはFM）を選び、選局ボタン（＋／－）でメモリー登録したい放送局を選びます。

2 メモリーボタンを押します。

3 ディスプレイのメモリーアイコンが点滅し、メモリー番号（00）が表示されます。

4 M＋ボタンまたはM－ボタンを押して、登録したい番号を選び、メモリーボタンを押すと登録が確定します。

5 複数の放送局を登録したい場合は、ステップ1～4を繰り返します。

6 登録した放送局を選択するときは、M＋ボタンまたはM－ボタンを押して選びます。M＋ボタンを押すと登録局が順に送られ、M－ボタンを押すと逆順で送られます。

登録確定

ヒント

- ●AM20局、FM40局を登録できます。※メモリー番号01～20（AM）、01～40（FM）に登録できます。
- ●メモリー登録した放送局を受信中は、ディスプレイにメモリーアイコンとメモリー番号が表示されます。ただし、選局ボタン（＋／－）で手動受信した場合は表示されません。メモリーアイコンとメモリー番号は約10秒後に消えます。
- ●すでにメモリー登録された番号を選択した場合、データは上書きされます。

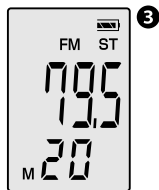
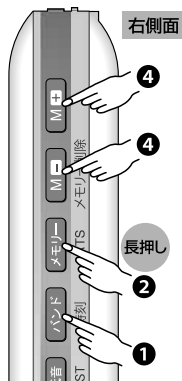
ATS（オートチューニングスキャン）

ATS(オートチューニングスキャン)を使えば、受信可能な放送局を自動検索し、一括してメモリーに登録することができます。

1 バンド切換ボタンを押して、ATSを行いたいバンド(AMまたはFM)を選びます。

2 オートチューニングボタン(メモリーボタン)を長押しします。

3 オートスキャンをした後にメモリー登録され、登録が終わると受信可能な放送局を自動的に受信します。

4 M+を押すと、受信可能な次の放送局に移動し、M−を押すと、ひとつ前の受信可能な放送局に移動します。ディスプレイの周波数とメモリー番号表示を見ながら、お好みの放送をお楽しみください。

ヒント

- メモリー番号 01 ～ 20(AM：20局)、01 ～ 40(FM：40局)に登録されます。その際、これらの番号にすでに手動にてメモリー登録をしていた場合、データが上書きされますので、ご注意ください。
- メモリー登録した放送局を受信中は、ディスプレイにメモリーアイコンとメモリー番号が表示されます。ただし、選局ボタン(+／−)で手動受信した場合は表示されません。メモリーアイコンとメモリー番号は約10秒後に消えます。

ご注意

受信状態によっては、ご希望の放送局が登録されないことがあります。その場合は、手動でメモリー登録を行ってください。

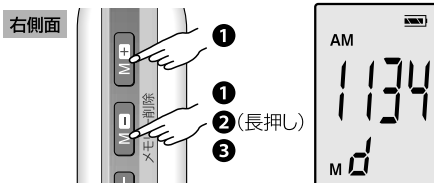
メモリー登録の削除方法

手動またはATSで登録したメモリーを削除するには2つの方法があります。

個別のメモリー登録を削除する場合

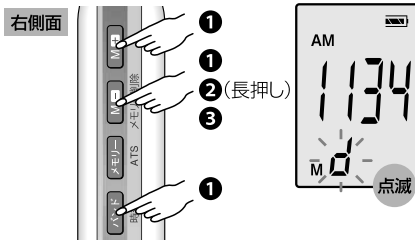
1 M+ボタンまたはM−ボタンを押して削除したい放送局を受信状態にします。

2 メモリー削除ボタン(M−ボタン)を長押しします。メモリー番号の代わりに「d」が表示されたら、すぐに指を離します。

3 もう一度メモリー削除ボタン(M−ボタン)を押すと、削除されます。

メモリー登録をすべて削除する場合

1 バンド切換ボタンを押してメモリー登録を削除したいバンドを選び、M+ボタンまたはM−ボタンを押します。

2 メモリー削除ボタン(M−ボタン)を長押しします。メモリー番号の代わりに「d」が表示され、「d」が点滅を始めたら指を離します。

3 もう一度メモリー削除ボタン(M−ボタン)を押すと、登録されている内容がすべて削除されます。

海外でご使用の場合

本機は、海外でのご使用時など、必要に応じて設定の変更が可能です(通常は変更の必要はありません)。
本機の電源が切れた状態で、操作してください。

受信周波数帯を変更する

M+ボタンを長押し(約10秒)すると、ディスプレイに下記のいずれかの数字が表示されます。受信させたい周波数帯の数字が出るまで、この操作を繰り返します。

ディスプレイ表示	受信周波数帯	
64	FM 64~108MHz	AM 522~1710KHz
76	FM 76~ 90MHz	AM 522~1629KHz
87	FM 87~108MHz	AM 522~1710KHz

※ 工場出荷時は「76」(日本国内用)に設定されています。

AM放送の受信ステップを変更する

重低音ボタンを長押し(約10秒)すると、ディスプレイに下記のいずれかの文字が表示されます。希望の受信ステップの文字が出るまで、この操作を繰り返します。

ディスプレイ表示	受信ステップ
A09	選局ボタン(+/−)を押した際、9KHzごとに周波数を送ります
A10	選局ボタン(+/−)を押した際、10KHzごとに周波数を送ります

※ 工場出荷時は「A09」(日本国内用)に設定されています。

故障かなと思ったら

電源が入らない

●乾電池の向きは正しいですか。
●乾電池が消耗していませんか。
●ホールド機能がONになっていませんか。

音が出ない

●音量が最小になっていませんか。
●電源は入っていますか。
●正しく選局されていますか。

雑音が多い/音が悪い

●乾電池が消耗していませんか。
●イヤホンを接続していますか(FM放送の場合、イヤホンコードがアンテナの機能を兼用しているので、伸ばした状態で受信してください)。
●近くで携帯電話を使用していませんか(携帯電話から離して使用してください)。
●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか(テレビや蛍光灯から離して使用してください)。

メモリー登録したラジオ局を受信できない

●電池交換等によりリセットされた可能性がありますので、もう一度設定し直してみてください。

お手入れのしかた

本機表面の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後に乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にぴりぴりと痛みを感じることがありますが、これはヘッドホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

主な仕様

項目	仕様
受信周波数	AM　522～1629kHz FM　76～90MHz
出力端子	φ3.5mmステレオミニジャック
最大出力	13mW（付属イヤホン使用にて）
電源	DC3V　単4形乾電池×2本（別売）
外形寸法	幅46×高さ81×厚19mm（突起物含まず）
質量	約50g（乾電池を除く）
使用時間目安	AM放送　約40時間 FM放送　約38時間 ※いずれもアルカリ乾電池（新品）・音量中程度・バックライト消灯状態で使用した場合
付属品	ストラップ、ステレオイヤホン、取扱説明書、保証書

※使用時間の目安は、使用状況等により異なります。
※仕様・外観等は予告なく変更することがあります。

MEMO